

鈴木淳司衆院議員が 総務大臣就任

その“素顔”は こんな人

「真剣な政治家」と妻 瀬戸市議時代から 国政視野

鈴木淳司（すずき じゅんじ）
瀬戸市生まれ。早大法学部卒。松下政経塾を経て、瀬戸市議（2期）に。衆院議員6期。総務大臣政務官、衆議院文部科学委員会理事などを歴任。自民党の教育再生実行本部副本部長、組織運動本部労政局次長のほか、衆議院の地方創生に関する特別委員会委員を務めた。現在、衆議院原子力問題調査特別委員会委員長など多数の要職を務める。



（2014年撮影）

愛知7区選出の衆院議員、鈴木淳司さん（65）＝当選6回、安倍派＝が第2次岸田再改造内閣で総務相に就任した。今回は初入閣の閣僚が11人と多く、鈴木氏もその一人。初入閣組は当選回数が6～8回とそれなりに多い議員もいるが、全国的な知名度は低い。愛知県選出議員で久々の閣僚誕生でもあるが、鈴木さんとはどんな人物なのか、新総務相の素顔に迫った。

鈴木さんは1958年4月瀬戸市生まれ。愛知県立千種高校から早稲田大学法学部を卒業、故松下幸之助氏の理想に共鳴し、松下政経塾入塾。瀬戸市議会議員2期を経て2000年衆院選に出馬、惜敗、03年の衆院選で初当選。09年次点で苦杯を嘗めたものの、12年から4回連続当選。15年経済産業副大臣（第3次安倍改造内閣）、16年衆議院法務委員会委員長、18年総務副大臣（第4次安倍改造内閣）などの要職を務めた。また、安倍派に所属。自民党政務調査会副会長、同教育再生実行本部副本部長、同経済産業部会長も歴任。

法務委員長在任時には、「テロ等準備罪」を

新設する組織犯罪処罰法改正案の審議をめぐる委員会が紛糾。野党から運営が「憲政史上まれに見る強権的なもの」として委員長解任決議案が提出されたが、与党などの反対多数で否決された。

道徳教科化、大学入試改革など様々な改革が矢継ぎ早に打ち出され、教育現場や保護者らに不安や戸惑いが広がっていた14年秋、党教育再生実行本部副本部長の鈴木さんに弊誌がインタビューした。同氏は「私は良い先生に恵まれた。先生の趣味や関心が伝わってくる人でした。脱線する先生が好きで、そうした話の中に子供たちに対して感動を与える力が潜んでいると

思っている」と話し、「自分で考え、行動するきっかけをつくることこそが教育の本質で、人を前向きにする力を与えるのが教師だ」などと持論を展開していた。

東京の衆院議員事務で私が妻の敏子さんを紹介された時、鈴木さんは開口一番、「バイオリニストなんだ」と誇らしげに語った。それもそのはず、彼女は結婚前から2014年まで名フィル（名古屋フィルハーモニー交響楽団）にいたプロの演奏家。自民党愛知県連のパーティーなどでも敏子さんのバイオリン演奏が聞かれた。敏子さんは新聞のインタビューで「夫は博識で美術館巡りなどを誘ってくれる。この人は仕事のために生きているのでは、と思うほど政治家として真剣。自分の存在が知られなくてもみんなが快適に過ごせればいい。それが成果とさえ思っている気がします」と答えている。

趣味は旅行・音楽・やきもの鑑賞という鈴木さんはフェイスブックにこまめに投稿。地元瀬戸市在住の将棋の藤井聡太7冠を応援。現在対戦中の王座戦を勝てば、史上初の8冠達成とあって最近「藤井7冠にとっては絶対負けられない。まさに歴史を刻む一局」などと熱い投稿も見られる。

瀬戸市議時代の早くから国政を視野に、「地元愛」をよく語った。ただ、小選挙区の範囲が県内の一部で狭いとはいえ、県選出議員としては愛知県全域または東海地区に目配りできる議員であるべきとの期待も根強い。まして大臣なら視野はさらに広げなければならないはずだ。

私はこれまでも折に触れて鈴木議員に会い、教育関係者らを紹介するなどしてきたが、以前、東京事務所の議員に何回か連絡しようとして返事がないので確認すると、秘書が止めていて「返事をするかどうかはこちらで決める」と高圧的に言われた。元国会議員や複数の議員秘書らが同様に鈴木事務所の対応に疑問を持っていて、これでは議員が小さい人物に見られるのではと思ったものだ。

総務省は行政運営の改善、地方行財政、選挙、消防防災、情報通信、郵政行政など国民生活の基盤にかかわる行政機能に責任を持つ役所である。その大臣は国の方向性を決める重責を担うとともに、国会質疑でも矢面に立たされる。総務相として政治手腕をどう発揮するのか。愛知のみならず、広く、全国の地方もその発信力に注目することになる。かじ取りの真価が試されるのはこれからだ。（編集顧問 中原道文）

「固い信念の人」と後援連合会長の杉山さん



杉山仁朗・後援会連合会長

鈴木淳司後援会連合会長の杉山仁朗・富士特殊紙業株式会社会長の話

彼はよく言えば固い信念を持った、悪く言えば融通が利かない人物だね。「私はどぶ板選挙はしない」などと言っていたが、議員としてすべきことはしていたと思う。

例えば、自民党の原子力規制に関する特別委員会委員長を務めエネルギー政策を推進している。政治家になる前となってから、まったく変わってしまう人物がいるとよく聞きますが、彼は今も変わらず融通が利かない人。次回からは選挙区が愛知第6区（瀬戸市・春日井市）に変わりますが、今まで通り、固い信念を持った政治家であってほしいと思います。